

## たこつぼ症候群の治療のために入院経験のある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力のお願い)

岩手医科大学内科学講座循環器内科学分野では、上記の病気で入院された方の診療情報（カルテ情報）及び検査情報を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については細心の注意を払って取扱います。

本研究への参加を望まれない患者さんの診療情報（カルテ情報）及び検査情報は削除し使用しませんので、その旨【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

なお、情報の解析が進んでいくと削除できない場合がありますが、その段階では氏名、生年月日、住所、電話番号の個人情報削除され、個人が識別できないよう厳重に管理されています。

### 【研究課題名】

たこつぼ症候群の後ろ向き症例登録研究 ー岩手県内多施設共同研究ー

### 【主任研究者】

岩手医科大学医学部医学教育学講座地域医療学分野 教授 伊藤 智範

### 【研究の目的】

たこつぼ症候群はストレスを契機に発症する疾患として知られている。新潟中越地震や東日本大震災の発生直後にたこつぼ症候群の発症が増加したとの報告がある。東日本大震災時には岩手県内でのたこつぼ症候群も増加したことをこれまで確認している。しかしながら、東日本大震災発生から長期の経過についての研究は多くは行われていない。平成 29 年 9 月 30 日現在でも 7,141 人が仮設住宅での生活をしており、震災に伴う生活上の影響は震災から 6 年たった今でも少ないとはいえない。岩手県内での東日本大震災前後でのたこつぼ症候群の発症状況、またその後の長期間の経過観察での発生状況について検討することを目的とした。

### 【対象となる方】

平成 21 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までに岩手医科大学附属病院ならびに関連病院でたこつぼ症候群と診断され、入院された患者様

**【使用する診療情報】**

年齢、性別、冠危険因子の有無、既往、発症日、発症時間、入院日

発症の誘因となった精神的・肉体的ストレスの有無とその詳細、自覚症状の有無とその詳細

身長、体重、入院時バイタル（血圧、脈拍、体温）、入院時心電図、入院 7 日目などの心電図

緊急もしくは待機の心臓カテーテルの所見、アセチルコリン負荷試験の施行の有無とその結果

急性期と慢性期の心エコー所見

採血結果、治療方法、合併症の有無（ショック、心不全、不整脈、心内血栓など）

院内死亡、死亡日時、死亡の原因、再発の有無など

**【研究期間】**

平成 30 年 1 月 4 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日

**【個人情報の保護】**

利用する情報からは、お名前、ご住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用致します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表しません。

**【情報の保管場所】**

本研究で得られた情報は岩手医科大学附属循環器医療センターで適切に保管されます。

**【問い合わせ先】**

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

岩手医科大学内科学講座 循環器内科分野

担当医師：伊藤 智範、芳沢 美知子

電話番号：019-651-5111（内線：7322） Fax 番号：019-907-4228